道なき「道の駅」構想の怪！？

浦戸・長浜地域に浮上した「道の駅」構想。計画されている土地の大半（ゴルフ場）は、特定事業者が所有しています。

下の図を見れば、その土地は県道14号線沿いではなく、そこから細い道を入った山の中であることが分かります。そこに「浦戸小学校」付近から、山の尾根沿いに道を作り、「道の駅」を作る計画です（図1参照）。

岡崎市長は議会で、「地元海産物を観光客に提供」「国の地方創生策の活用」含めて検討したい、と答弁しています。

しかし、道のないところに「道の駅」を作る「不合理さ」、山の上で海産物を売る「不自然さ」はぬぐえません。

また、桂浜の観光振興にとっても、桂浜の商店との競合、場所的な配置の整合性、相乗効果等の点で大いに疑問が残ります。100億円規模の予算が必要とも言われ、透明性のある論議が必要です。